



愛知陸協広報

第2号

18年4月1日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F
電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

男子第11回、女子第24回全国都道府県対抗駅伝

男子：猛追するも一歩及ばず第3位
仲野選手優秀選手賞に輝く
平成18年1月22日（日）
広島市平和記念公園前発着7区間48.0km
総合成績 2時間21分52秒 第3位



写真提供：中日新聞社 健闘の愛知県選手団のみなさん

〔レースの経緯・講評〕

今回の結果は、愛知県チームにとって次に繋がる非常に価値あるものだと感じている。正直なところ冷静にチーム戦力を分析してみても、3位が精一杯だと予想していた。

結果的には予想通りであったが、内容は1区の三田選手が体調不良の為、区間32位と彼自身としては不本意なスタートとなった。しかし、2区以降市川選手で28位、白柳選手で14位と徐々に順位を上げ、4区の加藤選手は区間賞の力走で6位に順位を上げ、入賞圏内にもっていった。5区岡部選手、6区守田選手も粘り強い走りで行き届き順位をキープし、アンカー仲野選手が期待通りの力走で区間賞・MVPと最高の走りが出来たと思う。

チームも選手個々も自信をつけることができ、本当の意味での

駅伝が出来たのではないかと。選手の失敗を他の選手が全員でカバーし、しっかりと結果を出す。これが今の愛知県チームの強さと層の厚さではないかと思う。

今回も選手のサポートをして頂いた中学・高校・実業団・トレーナー等の先生方に感謝し、来年は2度目の優勝を目指し、選手、スタッフ一丸となって頑張りたい。

最後になりましたが、毎年私達を温かく迎えて下さる愛知県人会の皆様に、感謝の気持ちを込め結果報告とさせていただきます。

（男子監督 亀鷹 律良 〈トヨタ紡織〉）

女子：健闘するも第20位
平成18年1月15日（日）
京都・西京極陸上競技場発着9区間42.195キロkm
総合成績 2時間21分43秒 第20位

〔レースの経緯・講評〕

今大会は大会前から、全日中チャンピオンの鈴木選手にテレビ局や新聞社の取材が集中した。大会での区間賞や区間記録更新の期待もされた。

しかし、大会2日前に一般選手の2名の変更があり、かなり不安の残る大会出場となった。当日は心配していた1区で区間43位と大きく出遅れる展開となった。しかし2区以降は予想通り順位をほとんど下げる事もなく走り、アンカーへの中継では13位まで順位を上げる事が出来た。

しかし、アンカーも2日前に出走が決まった選手だったので準備が十分ではなかった。

今回のレース展開から見ても中学・高校生は、かなりのレベルで強化されている。しかし一般選手の強化は、UFJ銀行の廃部から1年目でまだまだ遅れている。今後は、一般区間の強化が最大の目標となる。次回も、区間賞をとった中学生の鈴木選手など高校生も2年生で力のある選手が残るので、上位を目指して頑張りたい。

（女子監督 船越 厚次 〈愛知電機〉）

成績（区間記録・順位）

	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区
男子	7.0km	3.0km	8.5km	5.0km	8.5km	3.0km	13.0km
	三田 裕介	市川宗一郎	白柳 智也	加藤 創大	岡部 寛之	守田 収一	仲野 旭彦
	豊川工高	岡崎竜南中	トヨタ紡	愛知高	豊川工高	石巻中	愛三工業
	21.11 (32)	9.14 (19)	24.50 (6)	14.23 (1)	25.25 (10)	8.54 (6)	37.55 (1)

菅谷宗弘（トヨタ自）、清水紀仁（豊川工高）、山本修平（高師台中）

	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区	第8区	第9区
女子	6.0km	4.0km	3.0km	4.0km	4.1075km	4.0875km	4.0km	3.0km	10.0km
	山中 美紀	湯田 友美	鈴木亜由子	足立依實子	林 有希子	亀井久美子	相澤 有紀	奥田和佳奈	種村友里恵
	愛知電機	ワコール	豊城中	豊川工高	中京大中京高	豊橋東高	豊川工高	富貴中	愛知電機
	21.14 (43)	12.39 (3)	9.27 (1)	13.37 (19)	13.32 (7)	13.19 (12)	13.07 (13)	10.16 (7)	34.32 (38)

後藤由華子（小島プレス）、安藤千歩（庄内RT）、中篠宏美（愛知淑徳高）、二宮悠希乃（豊明・星城中）

男子第56回 全国高校駅伝
女子第17回

師走の都大路の風物詩でもあり、高校生への夢の舞台でもある全国高校駅伝が平成17年12月25日(日)、晴天に恵まれ、激戦の地区予選を勝ち上がった男女各47校が栄冠のゴール目指して力走した。

本県では豊川工高と中京大中京高が出場し、健闘したので両校の監督にレースを振り返っていただいた。

男子(豊川工)：総合成績 2時間06分07秒 第3位

〔レースの経緯・講評〕

京都西京極陸上競技場を発着点とした7区間42.195kmのコースで実施された。本校男子は8年連続8回目の出場となり、優勝候補にも挙げていただいたが結果は第3位であった。

本校は愛知県大会、東海大会と少しずつ調子を上げ、ほぼベストコンディションで全国大会を迎えることができた。

本校の理想のレース展開は、1区で仙台育英を1分差で追いかけて、2区で40秒差に縮め、そして3区で手の届く所まで追い上げて4区で並ぶ、もしくは前に出る。そして、そこからはひたすら逃げる…というものであった。5区以降のメンバーも実力があつたのだが、今回は最後の最後まで区間配置に迷いがあつた。この迷いが最終的に致命傷となってしまったのかも知れない。

レースは予想通りの展開で進んでいった。まず1区でケニアからの留学生4人が飛び出し、それを鹿児島実業の森が追いかける。その後ろを日本人集団が更に追いかけるという展開である。留学生と本校1区の清水(2年)との差は次第に開いていき、中間点で50秒そして中継点では世羅と1分40秒。マークしていた仙台育英とは1分22秒の大差となつてしまつていた。その後2区の藤田(3年)がじわじわ追い上げ3区の三田(1年)の区間賞の快走で仙台育英との差を14秒差までにして折り返した。こちらの誤算もあつたが仙台育英も2区・3区の走りは誤算であつたようである。1位世羅、2位仙台育英、3位本校の順番で折り返していった。その後4区岡部(2年)は中間点からじわじわ追い上げていき10秒差、次の中継点で並びそうな勢いであつたのだが、ラスト1kmで先頭の世羅高校がスピードダウン。そこに並びかけた仙台育英に勢いがついてしまった。この



「次は優勝を」と意気に燃える部員のみなさん

区間のラスト200mで4秒開いて、また14秒差に戻つてしまった。ここで本校の勢いは止まつてしまった。ここからの3区間は空回りでも本来の力が出せずに結局そのまま3位でゴール。「駅伝とはこういうものなんだな」と痛感させられたレースであつた。

昨年度の準優勝から1年間を振り返つてみて、この全国3位という結果は結局普段の努力が3番目だったという言葉に尽きる。普段の心がけがまだまだなのである。このことを私も生徒も謙虚に受け止め、この1年間努力を続けて行きたいと思う。

最後に、本大会に際し愛知陸協の方々始め多くの方々からご支援をいただき感謝の気持ちで一杯である。この気持ちを結果として出せるよう今後も努力していきたいと思う。

応援ありがとうございました。

(県立豊川工 渡辺 正昭)

女子(中京大中京)：総合成績 1時間10分59秒 第19位

〔レースの経緯・講評〕

10時20分西京極陸上競技場をスタートとし、烏丸鞍馬口室町小学校前折返し21.0975kmのコースで行なわれた。レースは、1区の林は前半は好位置につけたが、後半疲れが出て24位と出遅れ、2区花岡が頑張り3選手を抜き20位と良い流れをつくりかけた。3区光田・4区伊藤・5区稲田とタスキを繋ぎ、総合19位でゴールした。

生徒の目標としていた全国高校駅伝に出場でき、結果は第19位であつたが、陸上競技者として、また高校生として大変貴重な経験ができ、これからの人生に大きな自信を得ることができた意義ある大会であつた。また今回をスタートとして、より高い目標に向つて努力していただきたいと思います。

(中京大中京高 川口孝志郎)



この「感激」と「体験」を次のステップと人生の糧に

成績(区間記録・順位)

	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区
豊川工高	10.0km 清水 紀仁 30.00 (9)	3.0km 藤田 翔 8.36 (4)	8.1075km 三田 裕介 24.10 (1)	8.0875km 岡部 寛之 24.00 (2)	3.0km 小柳津幸輝 8.53 (10)	5.0km 小川雄一朗 15.29 (23)	5.0km 市川 貴洋 14.59 (6)

	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区
中京大中京高	6.0km 林 有希子 20.21 (24)	4.0975km 花岡 美紗 13.38 (13)	3.0km 光田 真穂 10.07 (16)	3.0km 伊藤 麻未 9.57 (17)	5.0km 稲田 聡美 16.56 (19)

第25回 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会

期日 2005年12月18日(日)

コース 長良川競技場—大垣市総合体育館—長良川競技場
6区間 42.195km

愛知からは小島プレスが27位、愛知電機が28位でした。今大会は前日からの記録的な大雪でしたが、岐阜陸協はじめ地元行政関係団体による必死の除雪作業の結果開催できました。心から感謝申し上げます。

(中部実業団陸上競技連盟 極高 勇二)

第50回 全日本実業団対抗駅伝競走大会

期日 2006年1月1日(日)

コース 群馬県庁—高崎市役所—伊勢崎市役所—太田市役所—桐生市役所—群馬県庁 7区間 100.0km

愛知からはトヨタ紡織が7位、トヨタ自動車が9位、愛三工業が14位、愛知製鋼が36位でした。

区間順位のうち1桁順位の区間は、1区では愛三工業のウイリー・キルイが2位、トヨタ自の内田が9位、2区ではトヨタ自の浜野が5位、3区ではトヨタ紡のジョン・カリウキが3位、トヨタ自のムワンギ・ムリギが5位、4区ではトヨタ紡の前田が4位、愛

三工業の山内が9位、そして5区はトヨタ自の高橋が5位という結果でした。

(樋高 勇二)

第13回全国中学校駅伝大会

平成17年12月18日(日)、女子10:00、男子11:15スタート、千葉市・昭和の森特設コース(女5区間12km、男6区間18km)

男子の部は逆井中学校(千葉)が57分53秒で、女子の部は武蔵ヶ丘中学校(熊本)が41分46秒で優勝した。本県の2校は健闘し、好成績を収めた。

☆男子：豊橋市立石巻中学校(5年連続出場)順位：第10位
記録：59分18秒 奥本雅子監督

①野沢 貴利(3) ②山本 哲也(3) ③守田 収一(3)
④古田 充紀(3) ⑤松井 良弘(3) ⑥鈴木 雄貴(3)

☆女子：豊明市立沓掛中学校 順位：第5位 記録：42分19秒
小川 實監督

①加藤 麻美(3) ②鈴木 佑果(2) ③松本 千景(3)
④木村みどり(3) ⑤下村 環加(1)

なお、同大会は次年度より山口県で開催。

(秋田 明憲)

一般：トヨタ紡織貫禄の2連覇 高校：豊川工高大会新記録で3年ぶりの優勝

<2006年名岐駅伝競走大会 平成18年2月5日(日)> — 一般：6区間53.0キロ 高校：6区間40.6キロ —

「昭和5年開始以来、中部地区最古の駅伝として歴史と伝統を誇る大会」(大会プログラムより)は、夜来の雪が残り、伊吹おろしの厳しい寒さの中(気温：11時現在、大垣2.0度 岐阜2.4度)、厳しい条件をクリアして出場権を獲得した一般36チームは大垣城前を11時に、また高校46チームは岐阜県庁前を11時33分にスタート。沿道の多くの熱心な駅伝ファンの声援を受けながら、一路中日新聞社前のゴールを目指して熱戦が展開された。

一般は、3区まで愛三工業とスズキが交互に首位に立ったが、4区に入ってトヨタ紡織がJ. カリウキの好走(区間新記録)でトップを奪い、そのままゴールして2連覇を達成した。

高校は、2区まで僅差で2位につけていた豊川工高が3区で区間第1位の記録で首位に立ち、タスキをつないだ4、5、6区の選手も区間第1位の好走を見せ、従来の記録を34秒短縮する大会新記録で3年ぶり3回目の優勝を飾った。

本県勢の成績は次のとおりである(11位以下は、順位とチーム名のみ掲載)。

一般の部

順位	チーム名	記録
1.	トヨタ紡織(小林 佐藤 土田 J. カリウキ 中馬 前田)	2.32.28
2.	トヨタ自動車(浜野 尾田 内田 M. ムリギ 片岡 菅谷)	2.33.11
4.	愛三工業(井幡 山内 鈴木 仲野 水木 川)	2.33.23
7.	トーエネック(浅羽 中田 佐藤 角田 三嶋 花田)	2.37.01
9.	愛知製鋼(松嶋 三浦 S. マイナ 宮本 南川 大久保)	2.38.50
10.	中央発條(重見 榊原 両角 山口 原口 山田)	2.38.54
12.	名古屋大	13. 中京大
14.	守山自衛隊	15. 庄内 RT
16.	TWRC	18. TPAC
22.	館俱樂部	23. トヨタ SC
24.	愛知工大	25. 愛知大
28.	名城大	29. 三菱重名古屋
32.	名古屋商大	33. 愛知教育大
35.	名古屋工大	

28. 中部大第一高	29. 成章高	32. 国府高	33. 豊田大谷高
34. 岡崎北高	36. 一宮高	37. 名古屋高	38. 科技高豊田
40. 刈谷高	42. 西春高	43. 起工高	44. 東邦高
46. 刈谷北高			

区間賞(本県分のみ)

一般の部

第1区(12.4km) 井端 政等	愛三工業	36.10
第3区(7.9km) S マイナ	愛知製鋼	22.16
第4区(9.8km) J カリウキ	トヨタ紡織	26.44 区間新記録
第5区(6.2km) 中馬 大輔	トヨタ紡織	17.36
第6区(10.9km) 菅谷 宗弘	トヨタ自動車	31.56

高校の部 *：大会記録

1. 豊川工高(三田 村川 清水 岡部 中郡 藤田)	1.58.31*
6. 中京大中京高(岩本 尾関 安田 川口 引地 高濱)	2.02.46
8. 愛知高(金谷 加藤 和田 漆崎 井上 山田)	2.03.39
9. 愛工大名電高(川上 佐藤 内藤 酒井 田中 古田)	2.05.42
11. 岡崎城西高	14. 時習館高
16. 岡崎高	17. 惟信高
19. 弥富高	22. 豊橋東高
25. 豊橋工高	27. 豊川高

高校の部

第3区(9.8km) 清水 紀仁	豊川工	28.35
第4区(6.2km) 岡部 寛之	豊川工	18.03
第5区(4.3km) 中郡 恭兵	豊川工	12.36
第6区(6.6km) 藤田 翔	豊川工	19.29

(編集委員会)

名城大女子初優勝の快挙

—第23回全日本大学女子駅伝対校選手権大会—

平成17年11月27日(日) 仙台

11月27日(日)。これまで大阪で開催されていた大会ですが、本大会から場所を仙台に移し6区間39kmの新コースで開催されました。これまで22回の歴史の中で東海地区代表の優勝は一度もありません。何としてでも頂点に立って歴史を変えたいという思いでこれまで頑張ってきました。

平成7年に部員2名からスタートした本学女子駅伝部は、平成11年に全日本出場を果たし第5位に入賞して以来、4位、4位、2位、3位、2位という成績を残してきました。しかし日本一への壁は厚く、優勝まであと一歩のところまで涙をのんできました。

今年のチームにはユニバーシアード日本代表が3名おり、6人の平均タイムも15分台と、これまでになく優勝への手ごたえを感じながら大会に臨みました。しかし、ご存知のように駅伝は何があるかわかりません。第1区が予想以上に出遅れてしまい、15位。今年も駄目かと不安がよぎりましたが、今年のチームは、こ

のままでは終わりませんでした。2区(4km 田中真知・4年)3区(6.7km 川井美佳・1年)4区(10km 佐藤絵理・1年)と三連続区間賞を獲得し、4区が終わった時点で2位立命館大学に1分18秒の大差をつけることが出来たのです。そして5区、6区の走者も確実に襷をつなぎ、2時間08分54秒の好記録で念願の優勝を果たすことができました。

これまで愛知陸上競技協会の先生方には、いろいろな面でチームを支えていただきました。深く感謝申し上げます。

今後は、2連覇、3連覇を目指しさらに精進したいと思います。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(名城大学女子駅伝部 監督 米田 勝朗)

名古屋大63年ぶりの優勝

—第67回東海学生駅伝競走大会—

平成17年12月4日(日) 記念緑地公園～半田運動公園陸上競技場

67回という歴史ある大会に15大学が参加して行われ、東海地区大学No.1の座を競った。今年は、四日市大と中京大を中心に、愛工大と名大が僅差で続く激戦が予想された。

小雨がふりそうな天候の中、早朝8時20分に出発の号砲が鳴った。1区は名大(内藤)がトップで中継。秒差で四日市大(玉村)、中京大(伊藤)と続いた。愛工大(清水)は1年生の起用で力が出し切れず、47秒差の苦しいスタートとなった。続く2区は最長区間で各大学のエースが登場した。その中で、名大の中村が1区に続き連続区間賞をとる力走を見せ、3区中継点では2位四日市大に1分22秒の差を付ける独走態勢を築いた。

3区、4区、5区では、逃げる名大を、地力に勝る四日市大がじりじり追い上げる展開となった。中でも5区は2番目に長い区間で後半のエースが登場した。四日市大(田中)は先頭との差を11秒にまで縮め、完全に射程距離に入れた。愛工大も牛山が区間賞を取り、トップと46秒差として残り2区間に優勝の望みをつないだ。中京大はエース坂井の調子が残念ながら万全でなく、優勝争いから脱落してしまった。

続く6区で、ついに四日市大が名大を逆転してトップでアンカーへ中継した。名大との差は14秒の僅差である。最終区間に入ったこの地点で、優勝争いは四日市大と名大に絞られた。最終区間8.6kmのうち3kmで名大伊藤は四日市大服部に追いついた。そこから2人の併走が競技場のトラックまで延々と続いた。ラスト300mで服部が仕掛けたが、最後に伊藤が1秒差で逃げ切り、名古屋大学が実に63年ぶりの優勝を飾った。

(名大監督 金尾 洋治)

支部報告

尾張支部

一昨年(2004年)の9月に発足した「愛知県一宮総合運動場、陸上競技場を全天候型競技場に改修をお願いする陳情書作成委員会」の当支部陸上競技関係者、一宮市中小体連・当支部高体連をはじめ、関係のPTA連絡協議会、地域の保護者の方々からも暖かいご支援、ご協力をいただいて陳情書ができあがり、平成18年2月22日に、当支部地域関係の県議会議員のご支援ご協力を得て、知事をはじめ議長、副議長、教育長、文教委員長の各氏に陳情書(今回で3回目)を提出いたしました。タイミング良く、開催中の県議会で、一般質問に取り上げられましたので傍聴させていただきました。「支部唯一の公認陸上競技場として、利用者が年間約4万人と多い。雨が降ると田んぼと化す。競技者用の待機用テントもなく競技者は泥んこになり、濡れた体を不十分な施設、設備で始末せざるをえない。ルール改正により全国レベルの大会においては400メートルまでのトラック競技は全天候型競技場での電気計時による記録のみが公認記録として認められる。中学、高校生は三重県や知多市まで遠征せざるを得ない」ことなどを訴えていただいた。知事からは、「子供たちの競技がきちんとできないのは問題、時期を含め地元の要望に応えられるよう検討を進めたい」と前向きな回答をいただいた。一日も早い実現を期待しています。

(理事長 小椋 征弘)

名古屋支部

18年度へ支部飛躍エネルギーの予感

11月～3月期は、トラックのオフシーズンですが長距離陣にとっては、トラックレースの疲れをとる間もなく駅伝やロードレースへの切替えの大変な時期です。この時期トラックでのスピードを生かせずペースを崩す者、道路の窪みや傾斜で足を痛め故障する者と様々ですが、冬季での実践の経験を18年度の飛躍へ上手く繋げてほしい。期待しています。

冬期はトラックやフィールド陣にとっても、筋力・持久力・瞬発力の強化鍛錬の大切な時期です。名古屋支部では、小学生陸上教室を2回、中学生陸上教室を3回。県陸上教室を瑞穂会場と知多会場で各々3回。総計11回実施し、若い競技者の競技力向上に努めています。参加した選手諸君の更なる活躍を期待します。

また、世話をいただいた指導者の献身的なご尽力に感謝します。以下、主な名古屋支部記録。

1 県及び全国大会で活躍のチームや個人

- ①県中学校駅伝(男子) 阿久比中5位。
(女子) 杏掛中学校1位、富貴中3位。
- ②全国中学校駅伝(女子) 杏掛中5位。
- ③全国高校駅伝(女子) 中京大中京高19位。
- ④全国都道府県対抗女子駅伝参加(前掲)
安藤 千歩(庄内RT) 林 有希子(中京大中京高)
奥田和佳奈(富貴中)
- ⑤全国都道府県対抗男子駅伝参加(前掲)
加藤 創大(愛知高)
- ⑥スーパーレディーズ駅伝大会(福井市)
成瀬 直(至学館高) 中條 宏美(愛知淑徳高)
山口 洋美(愛知淑徳高) 勝股梨江子(明和高)

2 支部理事会 3回(11/16、1/20、3月予定)。

18年度事業計画、会計・施設用器具委員長交代、支部表彰、中学生登記事務委託、専門委員会報告、パソコンプリンター購入等審議。

(理事長 坂井田 醇三)

西三河支部

本支部は、戦後の混乱期からいち早く立ち上がり、第1回愛知陸上競技選手権を開催して以来、長年優秀な選手を生み出し愛知の陸上競技を支えてきました。一時期指導者の交代期において若干低迷した時期もありましたが、この所の三河両支部の活躍は目覚ましいものがあります。

名岐駅伝においても、一般3・高校7チームの参加中、トヨタ紡織の優勝、岡崎城西高11位と健闘しましたし、高校駅伝県予選会においても、光ヶ丘女子高が4位と着実に力をつけています。ジュニアオリンピックでは、男子Aクラス200m7位、女子Aクラス100m7位、走高跳8位、Bクラス走高跳3位・5位と、上位入賞は少ないが若い力も今後期待できます。

長距離においても、箱根駅伝や都道府県対抗駅伝などに支部出身者・中学生が頑張っています。

来年度の競技力向上を目指す陸上教室は、第1回12/17(安城)、第2回12/23(雪の為延期3/21(刈谷))、第3回2/4(安城)とそれぞれに600人を越える参加者の中、豊橋陸上クラブなど支部外の参加者もあり、気温の低い中、指導者・選手とも熱心に頑張ってくれています。

西三河支部のコーチングスタッフは、近年、全種目にわたってバランスよく揃ってきたので、選手の今後一層の活躍が期待できます。将来、ここからオリンピック選手が出ることを期待しています。

年度末に行われる支部総会(3/26)において、毎年年度内の全国大会入賞者表彰を行なっています。

本年度は延べ61名を表彰しました。(実数一般23名・高校3名・中学6名・小学生1名計33名。)。表彰規定 西三河支部登録者のみ授与。

まもなくシーズンインとなります。選手諸君の奮闘を期待しています。

(理事長 柴田 和秀)

東三河支部

トラックシーズンを有終の美で飾った選手達は、そのまま駅伝シーズンに入った。

駅伝は選手、監督の指導理念に基づいたコミュニケーションが大切で、選手は指導に応える形でベストを尽くし結果を出してゆくことである。全国高校駅伝に豊川工高、全国中学校駅伝に豊橋石巻中、全国小学校クロスカントリー大会に田原陸上教室が、全国大会出場切符を手にした。地域の皆さんの絶大な支援のもと好成績をあげることが出来た。

12月には東三陸協としては伝統ある第58回渥美半島駅伝が、98チームの参加を得て潮騒に押され、菜の花咲く伊良湖路を走り切った。一般の部では守山自衛隊が長年の夢をかなえて初優勝、高校は熱戦を制して愛知高校が、大会新記録で優勝した。一般女子の部ではスズキ自動車がダントツの優勝。その他東三河では多くの大会が催され、幾多の選手が育ってきた。主なものを上げて見ると、みなとシティーマラソン(11/13)、とよかわシティーマラソン(11/20)、全三河駅伝・蒲郡(1/8)、新城マラソン(1/15)、健康トリムマラソン(2/11)、田原健康マラソン(2/11)、三河湾健康マラソン(2/12)が町づくりの一環として盛大に開催されている。三河の特色の一つとして、戦後のスポーツ復興に努力された先輩の跡を継いで、マラソン、駅伝に関心が高く、地域の人々に支えられて育って来たものといえる。

一方、12月には選手の競技力向上のため東三中学冬期合宿が渥美で開催されました。指導者の熱意に敬意を表したい。

最後に平成18年の東三陸協の役員を選出し、1月8日の理事会にて決定し、平成18・19年の2年間総力を結集して行くことを確認した。

今後、役員の若返りを計りながら、新しい陸上界をつくり上げて行ってほしい。

主な大会の成績

第58回渥美半島駅伝(H17.12.18)

一般の部、優勝、守山陸上自衛隊 2.14.35

(石田、佐野、前田、有馬、岡庭)

高校の部、優勝、愛知高 2.12.28(大会新)

(和田、本村、石田、加藤、太田)

一般女子の部、優勝、スズキ 1.02.20(大会新)

(古田、高橋、松岡、八木、高木)

第38回全三河駅伝(H18.1.8)蒲郡

中学男子の部、優勝、矢作中 46.16

(池亀、渥美、阿利、高田、菅谷、日下部)

中学女子の部、優勝、城北中 43.50

(水谷、影山、中井、橋爪、伊藤)

一般男子の部、優勝、豊川工業クラブ 1.20.31

(藤田、中郡、伊藤、村松、吉見)

一般女子の部、優勝、岡崎城西高 44.43

(荒木、斉藤、池亀、角谷、伊地知)

高校男子の部、優勝、時習館高 1.19.37

(山田、河合、竹内、中村、小島)

(支部長 牧田 功)

関係団体報告

高体連陸上競技部

18年度の競技会日程がほぼまとまりましたが、そのうち高体連関係だけをピックアップしました(前期)。

○高校総体関係

各支部予選会	名南北	5月3日(祝)・4日(休)・5日(祝)	瑞穂
	知多・尾張	〃	知多
	西三	〃	豊田
	東三	5月3日(祝)・4日(休)	豊橋

県総体	5月19日(金)・20日(土)・21日(日)	瑞穂
東海総体出場者練習会	5月28日(日) 全日	瑞穂
東海総体	6月16日(金)・17日(土)・18日(日)	瑞穂
全国総体出場者練習会	7月2日(日)午前・27日(木)午前	瑞穂
全国総体	8月2日(水)～6日(日)	長居(大阪)

○1年生大会	名南北	7月22日(土)・23日(日)	瑞穂
	知多・尾張	〃	知多
	西三	7月22日(土)	豊田
	東三	7月22日(土)	豊橋

※18年度より男子砲丸・ハンマーの重量が6.0kgに変更になります。

※18年度は、東海総体・東海駅伝が愛知県の担当で開催されます。審判・補助員のご協力をお願いします。

※全国高体連より8年ぶりに陸上競技のトレーニング方法をわかりやすく紹介した本(ジュニア陸上競技マニュアル)が発売されました。ぜひとも各校1冊ご購入くださいますようお願いいたします。1冊3300円ですが、書店では販売いたしません。詳しくは、高体連各支部長にお問い合わせください。

(大島 修)

中小体連陸上競技部

11月19日(土)に、愛知県中学校駅伝大会が豊田市運動公園で行われ、男子は接戦の末、5年連続で豊橋市立石巻中学校、女子は2位以下に2分近くの大差をつけ、圧倒的な強さを見せた豊明市立杏掛中学校が優勝を決めた。

それを受けて12月18日(日)千葉県千葉市の昭和の森特設コースで全国中学校駅伝大会が行われ、男子の部は石巻中学が10位、女子の部は杏掛中学が5位に入賞した。

シーズン終了後は、各支部で合同練習会、強化練習会などを計画、実施し、来年度に向けての取り組みをしている。

(秋田 明憲)

小学生友の会

小学生クラブチーム 指導者実技講習会&連絡協議会

主催 愛知陸上競技協会 2006.2.4 瑞穂北陸上競技場

1 指導者実技講習会

テーマ:「走高跳の指導法について」

講師 愛知陸上競技協会強化委員 藤原照明氏

2 連絡協議会

(1) 全国小学生交流大会について

① 平成19年からは7月開催の可能性。

② 今年オープン種目…女子ソフトボール投げ

平成19年からは男女とも正式種目になる予定。

③ 全国小学生陸上競技指導者中央研修会

ア 埼玉県立スポーツ研修センター 8月5日(土)～7日(月)

イ NTT北海道セミナーセンター 8月11日(金)～13日(日)

希望者は申し出てください…大矢宛

(2) クラブチームの活動・悩み・要望

① 指導者に教員が居ないので、保護者だけで指導している。教員による学校での啓蒙と現場での指導が望まれる。

② 教員は転勤によって居なくなるので、指導者を地域で確保したいがむずかしい。

③ 中学生になってからも、社会体育として活動できる場を提供することが必要。

④ 指導法を高めるために、派遣講師一覧表により要請できるようにしてほしい。

⑤ 知多地区のクラブ対抗戦を計画している。

(3) その他

① 会員手帳 条項の削除

—3—ページ 3会員 ① イ団体会員

◎ …4支部のうちいずれか1つの支部内に住む…を削除。

(村上 叡治 大矢 新吾)

愛知県マスタース陸上競技連盟

心豊かな長寿社会の実現への貢献役

愛知マスタース陸上競技連盟が主催する一大行事として愛知マスタース陸上競技選手権大会があり、昭和62年10月の第1回に始まりこれまで17回開催されています。

この大会は愛知マスタースの選手権大会ですが、愛知マスタースの登録会員の外、他県のマスタースの登録会員でも参加することができます。

(逆に愛知マスターズの登録会員であれば他県のどこのマスターズ選手権にも参加できるシステムになっています。従って全ての都道府県にマスターズ連盟がありますので、4月から11月までの8ヶ月間、毎週のように全国各地のどこかで開催されています。)

記録は県内外を問わずすべて公認されますが、表彰の仕方は主催連盟により異なり、レースの記録順をそのまま表彰順位とする連盟と、県外選手を除いた順位で表彰している連盟があります。ちなみに愛知は記録順位を表彰順位として県内外を問わず健闘を称えています。

平成17年度は5月22日(日)に刈谷市総合運動公園で開催し、31歳から88歳の男女178人が参加。それぞれの競技力を発揮し、けが人もなく無事終了しました。競技の休憩時に刈谷市内の小学生によるリレー競技を挟んでいますので、三世交代の機会にもなっていますし、スタンドでは家族揃って応援する姿が見られ和やかな雰囲気もあります。

一方、競技は公式ですから厳正に行う必要があり、また、愛知マスターズ独自では運営ができないことから、愛知陸協西三河支部を中心とした愛知陸協審判員の方々にご協力いただいています。

愛知の実施競技種目の特徴の1つは投擲種目に「重量投」があることです。愛知の投擲選手には男女とも全国レベルの選手がいますので、マスターズ陸上の特有な種目ではありますが加えています。他県のマスターズ大会では実施していないところが多いため全国各地から参加者が集い、参加者の半数は他県からの参加となっています。

平成18年度は5月21日(日)9時から刈谷市総合運動公園で開催します。陸上競技場に足を運んで頂きたいと思います。

(理事長 佐野 昭二)

平成18年 愛知陸協 OB 会新年懇親会

平成18年1月26日～27日、尾張支部のお世話でサンパーク犬山で開催。天候に恵まれ、47名の参加で盛会であった。午後4時に受付を済ませ、各部屋でくつろぎ、入浴を済ませた後、各支部毎に記念写真撮影。午後6時より、國分一郎世話人代表よりの挨拶に続き新会員浜島聖治氏が紹介され、会員バッジの贈呈。

鶴田政之氏の乾杯で宴は進み、のど自慢のカラオケが披露され、予定の2時間がアッと言うまに過ぎ、各部屋で2次会、夜のふけるまで談笑が続いたよう。

翌朝は朝食後、9時に散会。来年は東三河支部が担当。

(村瀬雄一郎)

専門委員会報告

総務委員会

本委員会の下半期の業務内容は、上半期同様、登録・登記関係、各種会議の案内文発送、認知書の作成等細々としたことがらがあり、忙しい日々が続いている。特に2月に入り今年度の登録を整理する時期と相俟って、来年度の登録の準備も始まった。

(稲垣 裕)

平成18年度登録・登記担当者

支 部	一般・個人	高 校	中 学
名 古 屋	水野 隆夫	(南)新美 準人 (北)新美 準人 (知)山村 晃泰	久米 裕朗
尾 張	原川 豪	浜子 記行	八代 政彦
西 三 河	柴田 和秀	加藤 高行	細井 太郎
東 三 河	山本 三郎	市川 工	石川 立恵
全県(大学)	國分 一郎 脇田 千鶴		

平成17年度会員数

1. 30 現在

種 別	数	種 別	数
一 般 登 録	2439	高 校 生	5407
一 般 登 記	68	中 学 生	4024
		計	11,938

記録委員会

本委員会の年度後半の業務は、各競技会の記録整理及び年間ランキング表の作成が中心となっている。特にランキング表は3月中には完成させなければならないため、岡田武彦氏を中心に、西川・大橋両氏の協力のもと、取り組んでいる。

(稲垣 裕)

審判委員会

2005年度全国審判委員長会議が東京で2月18・19日に開催され、青木審判委員長と榊原審判副委員長が参加しました。その内容を受け下記のように各支部の審判伝達講習会で報告をしました。この講習会で得た知識に基づいて、4月からのトラックシーズンに向け、競技規則の修正や競技運営上の問題等を学習し、周知徹底されることを期待します。

3月18日	尾張支部	(一宮市民会館)	参加人数 58名
19日	東三支部	(豊城地区市民館)	参加人数 63名
24日	名古屋支部	(スポ振興会館)	参加人数 45名
25日	名古屋支部	(スポ振興会館)	参加人数 35名
26日	西三支部	(安城市体育館)	参加人数 115名
4月9日	全県会場	(瑞穂陸上競技場)	

《B級資格取得審判講習会のご案内》

2006年度の新しい審判員仲間を増やしましょう。女性審判員の増加を!

①愛知陸上協会主催(陸連登録・登記者対象)

5月22日 於 瑞穂公園陸上競技場

②東海学連主催(学生対象)

6月4日 於 中京大学

(青木 実)

施設・用器具委員会

「瑞穂に大型映像装置が導入される」

11月15日(火)付中日新聞でエキスポビジョンが瑞穂公園陸上競技場に移設されることが掲載された。愛知陸協に正式に話があったのはそれより1週間あつた。11月23日(水)名古屋ハーフマラソン終了後に名古屋市から正式に説明があった。市からは都市設計の白星氏とスポーツ課長野崎氏、係長近藤氏、係員千葉氏の4名であり、愛知陸協からは、竹内信、青木、外山、稲垣、桑原の5名が参加した。概略は、「電光掲示に変わってエキスポビジョンを設置するために、愛知陸協の要望を取り入れたい。どのような使い方を希望しているのか、予算内で取り入れられることがあれば伺いたい。」という内容であった。専門委員会で話し合い、12月6日に要望書を提出した。内容は下記のとおり。

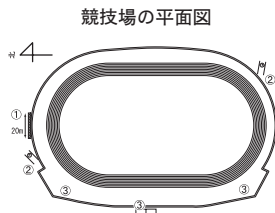
- (1) 現在の陸連システムとの連動が円滑にできること。
- (2) 現在はカタカナのみの表示であるので、漢字・図形のカラー表示が円滑にできること。
- (3) トラック競技・フィールド競技の映像を効果的に撮影できる位置にカメラを設置すること。各コーナーにも設置すること。
- (4) 競技の映像が、レース直後にリプレーできること。
- (5) マラソンなどの途中経過映像も映写できるようにすること。
- (6) 記録などのデータを表示する、スーパーインポーズ機能をもたせること。
- (7) 北競技場の電光掲示盤との連動させる機能を残すこと。
- (8) 従来のランニングタイマーを残すこと。
- (9) 使用料は、従来の料金並みにすること。

その回答を12月14日(水)に受けた。(1)(2)(4)(5)については、ほぼ要望どおり。(6)は不可能となり、(3)は3台のカメラを設置し、2カ所に配管配線をするようになった。また、(7)はかわりに北競技場放送室にモニターTVの設置、(8)は移動式タイマー2台で対応、(9)は今後市が決定することとなった。

今後の予定として、工事が5月の初めあたりまでかかり、競技場の使用については注意が必要となるであろう。使用担当者は、

競技場との打合せを密に行い、安全な競技会をめざしていただきます。また、5月中旬頃に陸連システムとの連動のチェックを兼ねた競技会でオペレーター養成研修会を予定している。

(桑原 義貴)



- ①大型映像装置（以前の電光掲示盤と同じ位置大きさ）
②照明塔 塔時計（ライトの支柱の間に取り付け）
③カメラ（司令室の屋上にカメラ取り付け）

※北競技場との連動については、北競技場放送室に映像を映し出すモニターテレビに対応する。
※電光掲示盤のランニングタイマーは、稼働式2台に対応する。
※1F放送室に100mコードの移動用カメラで撮った映像をビジョンに映す。

強化委員会

1 会議報告

11月18日：県教育会館で強化委員会開催。次年度の国体候補選手の選考と強化合宿開催の打合せを行った。

2月5日：都道府県対抗男女駅伝大会のスタッフによる反省会議を開催。次年度に向けて強化策を検討した。

2月27日：県教育会館で以下の内容で強化委員会の開催。

- ①都道府県対抗男女駅伝大会の反省と次年度に向けての強化方針
②次年度の強化委員会行事の検討 ③3月の強化合宿の打合せ

2 強化合宿報告

12月10・11日：岡崎総合運動場陸上競技場で、国体候補（投てき）選手合宿の実施。

12月24～26日：半田運動公園陸上競技場内海海岸で、国体候補（短距離、障害、跳躍、競歩）選手合宿の開催。

12月25～28日：瑞穂運動公園陸上競技場で、国体候補選手（中長距離）都道府県対抗駅伝選手合宿の開催。

1月4・5日：瑞穂運動公園陸上競技場で、都道府県対抗駅伝選手合宿の開催。

2月11・12日：知多運動場陸上競技場で、国体候補（投てき）選手合宿の実施。

3月4・5日：瑞穂運動公園陸上競技場で、国体候補（短距離、障害、跳躍、競歩）選手合宿の開催。同日、一宮総合運動公園陸上競技場で、国体候補（投てき）選手合宿の実施。

3 陸上競技教室開催の報告

12月10日～2月18日に、一宮総合運動公園、瑞穂運動公園、半田運動公園、渥美総合運動公園の陸上競技場4会場で、月1回のペースで開催された。県下から約1800名の小中高校生の参加者があった。県下トップ選手もコーチングスタッフとして参加した会場もあり、技術指導はもとより陸上競技の楽しさも充分学ぶ機会となった。

(水野 久)

競技・情報処理委員会

平成18年度（2006年度）の愛知陸上競技協会の競技日程が決定し、4月に実施の国体選考強化普及競技会、国体選考春季選抜競技会の大会要項と共に加入団体に送りました。

全国の大会日程、要項は、日本陸上競技連盟の陸上競技カレンダーに掲載されます（3月末の予定）。また、日本陸連のホームページに大会要項・申込書が掲載されます（ダウンロード可能）。

申込方法について大きな変更点があります。日本陸上競技連盟主催のうち以下の大会は陸協への申込ではなく、直接大会事務局、主管陸協への申込になります。

- 1 第90回日本陸上競技選手権大会
2 第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会

- 3 日本陸上競技選手権大会リレー競技大会
4 レディース陸上
5 第90回日本陸上競技選手権大会男子・女子20km競歩大会
6 第42回千葉国際クロスカントリー大会
7 第21回福岡国際クロスカントリー大会

愛知陸上競技協会の要覧は4月中旬に完成します。

申込については、注意事項を十分ご理解の上、競技会ごとに所定の申込書に必要事項を漏れなく記入し、参加料・プログラム代等を同封し、締切日までに遅れないよう申込んでください。

2006年度のトラックシーズンがスタートします。

みなさんの活躍を期待します。

(外山 幸男)

年誌資料・広報委員会

「愛知陸協広報」の創刊号（A4版12頁）を、多くの執筆者と関係者のご協力を頂いて、平成18年1月1日付けで発行した。改めてご協力頂いた関係各位に委員会として深謝します。

広報（第1号）は、800部印刷し、日本陸連の会長・理事をはじめ、近隣の陸協関係者、報道機関、県内の体育・スポーツ団体、出版社等、88の団体・個人に謹呈した。また、県内の関係者については、四支部および競技会時に競技役員・関係団体に留置法により配布（自由）した。

(西垣 完彦)

理事会等会議報告

○理事会 4月25日（月）県教育会館

1 協議事項

(1)女性委員会の新設等について (2)愛知陸上競技協会規約・内規の一部修正について (3)専門委員会の委員委嘱について (4)平成17年度要覧について (5)平成17年度選手強化計画について (6)東海選手権混成競技大会について (7)東海選手権大会リレー競技に2チーム出場する事について

2 報告事項

(1)日本陸連評議員会の報告 (2)特別表彰者について (3)名古屋国際女子マラソン反省事項の報告 (4)名古屋国際女子マラソン交通会議の報告 (5)各専門委員会活性化年間計画の報告 (6)70周年記念誌の進捗状況の報告

○理事会 5月30日（月）県教育会館

1 協議事項

(1)平成16年度一般概要報告 (2)平成16年度事業報告の承認について (3)平成16年度収支決算書の承認について (4)平成17年度事業計画（案）について (5)平成17年度収支予算書（案）について (6)規約の改訂について (7)愛知陸上競技協会役員の追加について

2 報告事項

(1)各委員会報告

○常務理事会 7月1日（金）県教育会館

1 協議事項

(1)愛知陸上競技協会会長表彰について (2)名古屋ハーフマラソン大会要項について

2 報告事項

(1)愛知選手権大会（寄贈者）について (2)愛知陸上競技協会特別表彰について (3)愛知陸上競技協会OB会について (4)日本陸上競技連盟評議員会について (5)各専門委員会報告

○理事会 8月10日（水）県スポーツ会館

1 協議事項

(1)第60回国体県代表（役員・選手）の選考 (2)国体代表選手の強化合宿について (3)70周年記念誌について (4)東海高校新人陸上競技大会開催について

2 報告事項

(1)全国女性委員会について (2)全国高校陸上競技大会の成績について (3)東海中学陸上競技大会について (4)名古屋シティー実行委員会について (5)勤労者スポーツの陸協運営協力について (6)名古屋

屋ハーフマラソンの要項について (7)投書に関連する事項について
○常務理事会 10月11日(火) 県教育会館

1 協議事項

(1)70周年記念誌の販売数と価格について (2)名古屋ハーフ(シティ)について (3)東海高校新人大会について (4)陸上教室について (5)中日豊橋マラソン大会について

2 報告事項

(1)国体代表選手の一部変更について (2)年末懇親会反省について (3)各専門委員会報告事項

○理事会 12月2日(金) 県教育会館

1 協議事項

(1)17年度各種栄章候補者の推薦について(2)愛知県体育協会表彰者の推薦について (3)平成18年度競技会等の日程について (4)全国都道府県女子・男子選手選考について (5)審判員昇格候補者の推薦について (6)2006名古屋国際女子マラソン大会について (7)2006犬山ハーフマラソン大会について (8)2006名岐駅伝大会について (9)西田・高橋記念室内棒高跳大会について (10)冬季強化合宿について

2 報告事項

(1)第60回国民体育大会の結果報告 (2)ジュニアオリンピック大会の結果報告 (3)スーパーレディーズ駅伝大会の結果報告 (4)名古屋ハーフマラソン大会の結果報告 (5)東海高校駅伝の結果報告 (6)メルボルンマラソン大会の結果報告 (7)陸上競技教室の状況報告 (8)全国強化委員長会議の報告 (9)各専門委員会からの報告

○常務理事会 1月10日(火) 県教育会館

1 協議事項

(1)平成17年度各種栄章贈与候補者について (2)平成18年度競技会等の日程について (3)公認審判員昇格候補者の推薦について (4)平成17年度記録の承認について (5)名古屋国際女子マラソン大会について (6)中日豊橋マラソン大会について (7)西田・高橋記念室内棒高跳大会について (8)中学生の登記事務・委託依頼について

2 報告事項

(1)日本陸連評議員会報告について (2)名岐駅伝競争大会について (3)犬山ハーフマラソン大会について (4)各専門委員会報告

(稲垣 裕)

栄章

おめでとうございます

平成16年度秩父宮章が受章者の外山幸男氏(常務理事)に対し、昨年10月の岡山国民体育大会時に日本陸上競技連盟河野会長より授与されました。

外山 幸男 略歴

競技歴 走幅跳 全国高校総体(青森)9位 愛知選手権 優勝
三段跳 東海選手権 3位 全日本実業団選手権 5位

役員歴 名古屋支部 秘書、審判委員長
愛知陸上競技協会 理事、審判副委員長、競技副委員長
データバンク委員長

現在 愛知陸上競技協会 常務理事
競技・情報処理委員長
副理事長

東海陸上競技協会 理事
日本陸上競技連盟 評議員

※平成13年度平沼亮三章受章



河野会長(中)と一緒に受章を喜ぶ外山さん(左)

○平成17年度栄章受賞者は以下の通りです。

- 秩父宮章 青木 実(常務理事)
- 平沼亮三章 大沼 広吉(光ヶ丘女子高校監督)
- 河野謙三章 榊原 正弘(武豊中学校監督)
- 春日弘章 村上 智史(名古屋大谷高校)
- 河野一郎章 奥田和佳奈(富貴中学校)

(稲垣 裕)

お詫びと追加

広報第1号10頁の第65回(平成17年)愛知陸上競技選手権大会の結果に、1部記載もれがありましたのでお詫びするとともにマラソン選手権者と併せて追加します。

男子

種目	1位	タイム
十種競技	柿崎 繁信 城西 AC	6630
四種競技	長野 祐樹 はとり中	2348
5000m	仲野 旭彦 愛三工業	14.20.74
10000m	大久保貴志 愛知製鋼	30.16.89
4×100mR	愛知学院大 東 哲久 彦坂 浩孝 金子 卓哉 瀧本 匡平	41.00
4×400mR	さかえクリニック 浅岡 聖志 細木 貴志 岡戸 成樹 大本 裕樹	3.18.23
マラソン	江本 悟司 三菱自・岡崎	2.23.11

女子

種目	1位	タイム
七種競技	中村 佳奈 静岡大	4484
四種競技	赤澤 祐美 杏掛中	2296
5000m	後藤由華子 小島プレス	16.37.07
10000m	後藤由華子 小島プレス	35.29.65
4×100mR	安城学園高 杉澤庚宇子 岩脇真奈美 林 加世子 河原崎可央里	47.83
4×400mR	愛知淑徳高 蜂須賀絵里 川崎 聖子 小久保敦子 坂田 知穂	3.56.09
マラソン	大南 博美 トヨタ車体	2.30.23

(稲垣 裕)

おくやみ

長年、本県の陸上競技発展のため多大のご尽力を頂きましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名 逝去年月 支部名

- 橋本 卓 17・3 名古屋 貝谷 壽一 17・7 名古屋
- 小田 洋水 17・4 名古屋 折田 義信 17・11 尾張
- 齋木 忠克 17・6 尾張 八田 武 17・11 東三河

編集後記

愛知陸協広報の第2号が無事発刊の運びとなりました。今号の内容は駅伝が中心になっており、県勢の活躍が多く報告されています。しかしながら原稿メ切の関係や紙面の都合上、ロードレースを含め第3号に回るものがありますのでご理解ご了承下さい。原稿をお寄せいただいた皆様には、感謝すると共にお詫び申し上げます。また今後とも広報をより良きものにするために、ご意見を広報委員会にお寄せ下さい。

第2号がお手元に届く頃には、すでに18年度のトラックシーズンが始まっていることと思います。関係者の皆様のご活躍を期待しています。

編集委員

- 占部 輝之 大西 敏功 榊原 茂 田中 輝彦
- 外山みな子 西垣 彦彦 野口 一昭 平川 貴之